

主題：聖書の心臓部——ガラテヤ、エペソ、ピリピ、コロサイ

メッセージ 10

ピリピ人への手紙（2）

キリストをわたしたちの経験の中で建造し、わたしたち自身の救いを成し遂げる

聖書：ピリピ 2:12-16

- I. ノアが建造した箱船は、神の救いとしての実際的な現在のキリストの予表です。そして箱船を建造することは、神の救いとしての実際的な現在のキリストをわたしたちの経験の中で建造することであり、それは団体のキリストであるキリストのからだの建造のためです。ピリピ人への手紙によれば、このことはわたしたち自身の救いを成し遂げることで—ピリピ2:12-13：
- A. 箱船を建造するとは、わたしたち自身の救いを成し遂げることです。それはわたしたちの経験の中でキリストを建造して、団体のキリストであるキリストのからだの建造することです。
- B. ノアが作業し、中へと入ったのは、神の救いである箱船でした。わたしたちは実際的な現在のキリストを持つべきであり、神の救いであるこの方の中へとわたしたちは入ることができます。
- C. 箱船はキリストの予表であり、それは個人のキリストの予表だけでなく、団体のキリスト、すなわち召会の予表でもあります。召会はキリストのからだであり、新しい人です—創 6:14. I コリント 12:12. エペソ 2:15-16. コロサイ 3:10-11：
1. 箱船を建造することが予表するのは、建造の材料としてのキリストの豊富な要素をもって、神と共に働く人たちによって、団体のキリストを建造することです。これがわたしたち自身の救いを成し遂げることで— I コリント 3:9-12 前半. II コリント 6:1. エペソ 3:8-10. 4:12。
 2. 箱船を建造し、その中へと入ることによって、ノアは邪悪な世代に対する神の洪水を通した裁きから救われただけでなく、その世代から分離され、そして新しい時代へともたらされました—創 8:13-19. I ペテロ 3:20。
 3. 同じように、神の救いとしての実行的な現在のキリストをわたしたちの経験の中で建造することを通して、召会を建造し召会生活の中へと入ることによって、わたしたちは今日の邪悪な世代に対する神の大患難を通した裁きから救われ（マタイ 24:37-39. ルカ 17:26-27. I テサロニケ 5:3）、その世代から分離され（ルカ 21:36. 啓 3:10）、そして新しい時代である千年期の時代へともたらされます。
- D. ピリピ人への手紙第 2 章 12 節における救いは、罪定めと火の池からの永遠の救いではなく、日ごとで常時の救い、すなわち生けるパーソンとしてのキリストです。わたしたちは永遠の救いを持っていますが、曲がったよこしまな世代からのさらなる救いを必要とします—ピリピ 2:15。
- E. 今日わたしたちは神の救いの経過の中にいます。わたしたちはこの経過の中へと入りました。そしてわたしたちにとってこの経過を通過することは、わたしたち自身の救いを成し遂げることで：

1. ノアは箱船を建造すればするほど、ますます神の救いを経過しました。最終的に、彼は彼が成し遂げたものの中へと入りました——創 7:7。
 2. 今日わたしたちの経験の中で、わたしたちが建造しているキリストは、わたしたちの将来の救いとなります。ある日、神の主権の下で、わたしたちはわたしたちが建造したキリストの中へと入るでしょう。
 3. 今日でさえ、わたしたちがキリストを経験の中で建造するなら、わたしたちはキリストの中に住むことができ、キリストの中に定住することができます——ヨハネ 15:5 :
 - a. キリストをわたしたちの経験の中で建造することは、主を愛し、彼の御名を呼ぶ求めることによって彼と会話し、彼と交わり、彼によって生き、日ごと時間ごとに彼と共に歩むことによって神の「共に歩む者 (co-walker)」となることです。こうしてわたしたちは神の同労者 (co-worker) となることができます——創 5:22-24. 6:9。
 - b. そしてわたしたちはキリストをわたしたちの経験の中で建造し、わたしたちの救いとしての彼の中へと入ることができます。
- F. ペリピ人への手紙の四つの章はすべて、わたしたちの救いとしてのすべてを含む生けるパーソンであるキリストについて言及しています :
1. ペリピ第 1 章において、救いはキリストを生きることであり、どんな状況の中でもキリストを大きく表現することです。
 2. ペリピ第 2 章において、救いは命の言を提供することによってキリストを反映することです。
 3. ペリピ第 3 章において、救いは神の義です。神の義はキリストの中で具体化された神ご自身です。
 4. ペリピ第 4 章において、救いは生活としてのキリストご自身です。その生活は、真実なこと、誉れあること、義なること、純粋なこと、愛らしいこと、好評なこと、そして徳と称賛に満ちています。
- II. ペリピ人への手紙の各章は、わたしたちの日ごとの救いとしてのキリストの特別な各面を提示しており、わたしたちが経験の中でどのようにキリストを建造して、自分自身の救いを成し遂げることができるかをわたしたちに啓示しています——3:12-13. 参照、ハバクク 1:1 :
- A. わたしたちはキリスト・イエスの内なる各部分を経験することができます——ペリピ 1:8. エペソ 5:25. II コリント 12:15. 1 ヨハネ 3:16。
 - B. わたしたちはキリストをわたしたちの生活とし、彼を大きく表現し、彼に表現を得させることができます——ペリピ 1:19-21 前半. ヨハネ 6:57. ガラテヤ 6:17-18。
 - C. わたしたちはキリストのからだの供給であるイエス・キリストの霊の満ちあふれる供給を経験することができます。投獄はパウロをキリストのからだから孤立させたり、パウロをからだの供給から断ち切ったりすることはありませんでした——ペリピ 1:19. ヨハネ 16:13。
 - D. わたしたちはキリストの思いをわたしたちの思いとすることができます——ペリピ 2:3, 5. 参照、エペソ 4:23. ローマ 12:3。

- E. わたしたちはキリストを内で活動する神として経験し、またわたしたちの主観的な救いとして経験して、彼を命の言として提供することができます——ピリピ 2:12-16。
- F. わたしたちはキリストを経験して、注ぎのささげ物とすることができます—— 17 節：
1. 注ぎのささげ物は、真のぶどう酒として神の御前に注ぎ出されて神に満足を得させる方としてのキリストを予表しています——出 29:40-41：
 - a. キリストはぶどう酒を生み出す方であり、彼ご自身を犠牲にしてぶどう酒を生み出して、神と人を喜ばせます——士 9:12-13。
 - b. わたしたちがこのキリストと接触し、彼の犠牲の命を経験するなら、彼はわたしたちを力づけて犠牲の生活を送らせ、わたしたちもぶどう酒を生み出して他の人と主を幸いにするでしょう——Ⅱコリント 1:24 後半、参照、5:13-15。
 2. 注ぎのささげ物は、キリストご自身を予表するだけでなく、わたしたちを天的なぶどう酒である彼ご自身で浸透させるキリストのことも予表しています。ついには、彼とわたしたちは一となり、神の享受と満足のために、また神の建造のために注ぎ出されます——マタイ 9:17。ピリピ 2:17。Ⅱテモテ 4:6：
 - a. 注ぎのささげ物は、天的なぶどう酒としてのキリストの予表です。ささげる者はこの方を享受して、彼で満たされて、神にとってぶどう酒となります。
 - b. 注ぎのささげ物は、主がわたしたちになる程度にまで、主と一になることをわたしたちが主観的に経験することです。わたしたちはキリストをささげ物として経験すればするほど、ますます注ぎのささげ物となります——民 15:1-10。
- G. わたしたちはキリストを獲得する（勝ち取る）ことができ、彼の中で見いだされることができます——ピリピ 3:7-9 前半、創 15:1。Ⅱコリント 12:2。
- H. わたしたちはキリストをわたしたちの生かし出された義とすることができ、キリストを主観的に啓示と経験の中で知ることができます——ピリピ 3:8-10。2:2。3:13。参照、イザヤ 64:6。啓 3:18。19:8。
- I. わたしたちはキリストをわたしたちの目標とすることができます。それは、わたしたちが彼をわたしたちの賞として享受するためです。わたしたちの目標はキリストを獲得することであるので、わたしたちは他のすべての事柄を捨てて、ただキリストだけを追い求めるべきです——ピリピ 3:12-14、7-8。
- J. わたしたちはキリストの中でわたしたちの喜びを保ち続けることができます—— 4:4。ヘブル 13:15。詩 119:164：
1. ピリピ人への手紙はキリストを経験し享受することに関するものです。キリストを経験し享受した結果は喜びですので、ピリピ人への手紙は喜びと歓喜で満ちた書です—— 1:4, 18, 25。2:2, 17-18, 28-29。3:1。4:1, 4。
 2. 「わたしは自分の喜びを保ち続けていますので、心配なさらないでください。あなた自身も気を付けて、心に喜びがありますように」—— 1972 年にウォッチマン・ニー兄弟が獄中から義理の姉に宛てて書かれたもの。
- K. わたしたちはキリストをわたしたちの謙虚溫柔さやさまざまな美徳として経験することができます—— 5, 8 節：
1. 謙虚溫柔さとは、自分が行なったり言ったりすることで人がどのように影響を受けるかを考慮することです。謙虚溫柔さは、理にかなっていること、思いやり、人を

取り扱うことで考慮することであり、法的な権利の要求において厳格ではないことです。

2. あらゆる必要、あらゆる要求を神にもたらし、彼と会話することによって、わたしたちの思い煩いは謙虚溫柔さに変わることができます。会話することは、わたしたちと神の間に交流があることを暗示しており、この交流によって、すなわち、わたしたちと神との間の交わりによって、わたしたちは神聖な分与を享受します。
 3. ピリピ第 4 章 8 節で、パウロはキリストを生きる生活を表現する六つの項目を提示しています。これらの美德は、神の具体化であるキリストを追い求める者たちの内側から生かし出された神の属性の表現です。
- L. わたしたちはキリストをわたしたちの秘訣として学ぶことができます—— 11-12, 6-7 節：
1. パウロはどんな境遇においても、足りる秘訣、満足する秘訣、満ち足りる秘訣を学びました。この秘訣は実はキリストご自身です。パウロはキリストを経験する秘訣を学びました。すなわち、あらゆる事において、あらゆる場所で彼を経験する秘訣を学びました—— 12 節。
 2. パウロがキリストに回心した後、彼はキリストの中へと入門し、キリストのからだの中へと入門しました——使徒 9:3-19, 25-28. 22:6-21. 13:1-4。
 3. パウロはどのようにキリストを命とし(コロサイ 3:4)、どのようにキリストを生き(ピリピ 1:21 前半)、どのようにキリストを大きく表現し(20 節)、どのようにキリストを獲得し(3:8, 12)、どのように召会生活を持つかについての秘訣を学びました(1:9, 19. 2:1-4, 19-20. 4:1-3)。
- M. わたしたちはキリストを、力づける方として受け入れることができます。彼はわたしたちを動機づける方であり、わたしたちの内側の動力です—— 13 節：
1. キリストはわたしたちを力づけ、彼をわたしたちの人のさまざまな美德として生きさせ、それによって彼の無限の大きさを大きく表現することができます—— 8-13 節。
 2. キリストによって力づけられることによって、わたしたちは満ち足りた生活を送ることができ、真実な者、誉れある者、義なる者、純粋な者、愛らしい者、好評な者になることができます—— 11-12, 8 節。
- N. わたしたちはキリストをわたしたちの期待とすることができます—— 3:20-21：
1. パウロがキリストを経験する中で生きた生活は、救い主、主イエス・キリストを待ち望む生活でした。主イエス・キリストは卑しい体を変貌させ、それを彼の栄光の体に同形化してください。
 2. 信者たちが栄光化に到達することは、命における神の救いの頂点であり、神のエコノミーの完成でもあって神の願いを満足させます——Ⅱコリント 3:18. 4:17. ヘブル 6:1 前半. ローマ 5:10. 啓 21:10-11。